

## とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都世田谷区弦巻 3-9-9
園名	保育園夢未来桜新町園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音（太鼓）

<テーマの設定理由>

生活する中で、よく耳にする音について考え、太鼓や身近な物を使いながら音への興味関心を広げ、音をより楽しむ為。

### 2. 活動スケジュール

1. 太鼓や身近な楽器など様々な物を叩いてみる
2. 音の違いを楽しむ
3. 自分の好きな音に出会う

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・和太鼓（大小）、バチ（太鼓）、鈴、どんぐり、ビー玉、おはじき

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・最初に手で太鼓を叩き、自由に太鼓に触れて音の違いを楽しむ。
- ・太鼓を叩いてみた後、他の楽器も手やバチを使って叩いた。
- ・手やバチだけでなく、どんぐりやビー玉も落としてみる事で、音の違いを楽しんだ。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・手で太鼓に触れた時の感触をそれぞれ楽しんでいった。「ざらざら」「かたい」「つめたい」等それぞれの感想を保育者や友だちと共有する様子が見られた。
- ・太鼓を叩いたり、太鼓に落とす物の素材によって、音の違いや大きさ、音の広がり方にも違いがある事を発見し、繰り返し楽しんでいった。
- ・叩いたり落としたりする際の高さによっても、音の大小に違いがある事に気付いていた。「座ってどんぐりを落とすと小さい音」「立ってどんぐりを落とすと音が大きくなる」等)
- ・太鼓の縁に興味を示し、叩いたり音を言葉で表現する子どももいた。「黒い所は小さくて、カッカッと音がする」等)
- ・音の響き方として、手で太鼓の表面を抑えながら叩くと、音が響かない事に気付く子どももいた。
- ・保育者や友だちと一緒に太鼓を鳴らす事で、コミュニケーションが広がっていた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ 太鼓に初めて触れる子どもが多かったが、手や様々な素材を使って触れてみた事で、興味を示し、楽しみながら太鼓に触れる様子が見られた。
- ・ 様々な素材を使って太鼓を叩いてみることで、音について考えるきっかけや、音の違いについて興味が広がる様子が見られ良かった。
- ・ 音だけでなく、太鼓の素材や形に興味を持ち、楽器について観察する場ができた。
- ・ 太鼓を通して音に触れる機会が増え、それぞれ子ども達の好きな音を見つけることができた。
- ・ 音の感じ方を表現したり、音の鳴る原理について興味を持つ姿が見られ、音を出す事とは違った観点で楽器に触れることができ面白かった。
- ・ 太鼓を通して音について話をしたり、太鼓で応答し合う場面も見られ、保育者や友だち同士のコミュニケーションの輪が広がった。音についても興味を持つきっかけにもなった為、太鼓に触れる機会はとても良い経験となった。